

授業科目	ウィメンズヘルス					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	杉浦 絹子						
授業概要	<p>女性の健康および QOL は、政治・経済などの社会情況や人々の文化・価値観の影響を多大に受ける。women-centered care、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ジェンダーの概念を中心に据え、女性の健康問題に関する最新のトピックスについて解説し、どのような支援、対応・対策が求められるかについて考察する。</p> <p>本授業においては、視聴覚教材を活用し、適宜短時間のディスカッションの時間を設ける。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床での助産師の実務経験を有する教員が教授する。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	ディスカッション PBL		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	今日の女性の健康問題について広い視野からとらえ、自身が選択したテーマについて情報収集し、それらを踏まえた自分の考えを小論文（レポート）に表現できる。（DP1-2、2-1、3-1）
理想的レベル	今日の女性の健康問題について広い視野から深く洞察し、自身が選択したテーマについて多角的な視点から網羅的に情報収集し、それらを踏まえた自分の考えを論理的に小論文（レポート）に表現できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	80%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	20%	授業への積極的な参加姿勢。ミニツッペーパー。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21604J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

母性看護学概論における既習内容について復習しておく。	4
----------------------------	---

授業計画

第1回	オリエンテーション テーマ：多様な SOGI（性的指向、性自認）の人々を尊重する医療 概要：SOGI マイノリティの人々の医療現場における体験を基に、医療現場における対応のあり方を考える。
	テーマ：障がいをもって生まれ生きてきた人々の医療 概要：1950年代末から1960年代初めに販売された処方薬「サリドマイド」を母親が妊娠初期に服用したことにより障がいをもって生きてきた人たちの人生を紹介し、求められる支援について考察する。

第3回	<p>テーマ：月経が女性の QOL および社会にもたらす影響 概要：月経が女性の QOL に及ぼす影響や社会的損失、女性の QOL を高める製品や技術開発（フェムテック）、女性自身ができる対処法、治療について解説する。</p>
第4回	<p>テーマ：予期せぬ妊娠・思いがけない妊娠とその対応・対策 概要：予期せぬ妊娠・思いがけない妊娠をした女性への支援（妊娠 SOS）、特別養子縁組に関する日本の現状と課題について解説し、課題解決にはどのようなことが必要か考察する。</p>
第5回	<p>テーマ：卵子凍結 概要：卵子凍結には医学的適応と社会的適応がある。社会的適応で卵子凍結を希望する女性たちの背景と社会的課題について考える。</p>
第6回	<p>テーマ：非配偶者間人工授精(AID)・精子提供 概要：非配偶者間人工授精(AID)、精子提供により妊娠・出産する女性のリプロダクティブ・ライツと子どもの出自を知る権利等の課題について考える。</p>
第7回	<p>テーマ：がん治療が AYA 世代のがん患者の妊娠性に与える影響と妊娠性温存 概要：がん治療が AYA (Adulcent and Young Adult：15 歳から 39 歳) 世代のがん患者の妊娠性に及ぼす影響と妊娠性温存に関する現状と課題について解説する。</p>
第8回	<p>テーマ：性暴力被害と対応・対策 概要：性暴力とは何か、性暴力が被害者的心身に及ぼす影響、性暴力被害への対応・対策、性暴力対応看護師（SANE）について解説する。</p>
テキスト	特に定めない
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・日本産科婦人科学会ホームページ https://www.jsog.or.jp/citizen/375 ・日本産婦人科医会ホームページ https://www.jaog.or.jp/qa/ ・内閣府 男女共同参画局ホームページ 生涯を通じた女性の健康支援 https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/kenko/index.html ・厚生労働省研究班 女性の健康推進室 ヘルスケアラボ https://w-health.jp/ ・吉沢豊予子編 ウィメンズヘルスケア 助産師基礎教育テキスト 第2巻 日本看護協会出版会 ・病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科 メディックメディア ・工藤美子編 助産概論・母子保健 助産師基礎教育テキスト 第1巻 日本看護協会出版会 ・渡邊浩子、板倉敦夫、松崎政代編 母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護 メヂカルフレンド社
課題に対するフィードバックの方法	ミニッツペーパーに書かれた質問等には、次の授業の冒頭で回答し、クラスで共有します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>日頃から女性の健康に関するニュース、新聞記事などを通して、女性の健康と社会、文化、環境との関連について考えるようにしましょう。 助産(師)に興味がある方は積極的に受講してください。</p>